

令和3年度（2021年度）第2回基幹公共交通・公共交通利用促進部会  
及びバス路線網再編部会 議事録（書面開催）

**【議事】（1）パークアンドライドの推進について**

（部会からのご意見）

- ・買い物券の発行など利用者にインセンティブを与える取り組みも検討した方が良いのではないか。
- ・P&Rの推進だけでなく、バスレーンの設置など自家用車に対する公共交通の優位性を高める取り組みも合わせて行っていく必要がある。
- ・車と公共交通の役割分担を明確にしなければ、都市機能が成り立たない。ベストミックスの構築に向けて出来るところから進めていくべき。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の行動の変化も把握する必要がある。

（事務局の回答）

- ・P&R社会実験では、上半期と下半期の2期に分けてモニターを募集することとしており、社会実験を実施する中で地元地域や植木町商工会と協議・検討しながら取り組みを進めて参る。
- ・市としては、地域特性に応じて自動車交通と公共交通を上手く組み合わせる都市交通の最適化、所謂ベストミックスの構築に向けてP&Rのほか基幹公共交通の機能強化など様々な取組を進めているところ。
- ・新型コロナウイルス感染症による公共交通利用者の行動の変化については、令和4年度からパーソントリップ調査を実施予定であり、その中でコロナ後の行動の変化についても検証していきたい。

**【議事】（2）輸送資源を活用した交通体系の効率化（ダウンサイジング）について**

（部会からのご意見）

- ・ダウンサイジングは、バスとして運行するのか。
- ・高齢の方への対応など、不便で乗らなくなったとにならないようにしてほしい。
- ・ダウンサイジングは、バスの履歴データを基に分析を行っているが、これはICカード導入の効果。データの分析による適切な対応ができるようになったといえる。

（事務局の回答）

- ・ダウンサイジングについては、9人乗りの小型車を「路線バス」として定時定路線で運行する。運転士は、バス会社がタクシー会社へ委託する方法を検討している。
- ・また、利便性を損なわないよう、おでかけICカードを利用できるようにするなど、できる限り、バス利用時と同じ機能を備えた運行形態を検討している。

**【議事】（3）熊本市域公共交通計画の進捗管理について**

（各委員のご意見）

- ・計画の進捗管理に関する事項について了承。